

No.208

令和6年9月定例会号
2024年11月1日発行

🌻 いるま

市議会

だより

9月定例会

入間市葬祭条例を廃止する条例など
31の議案等を審議 …………… P. 2

定例会議決結果 …………… P. 3

クローズアップ討論 …………… P. 4

16名が一般質問 …………… P. 5

姉妹都市議会交流事業 …………… P.13



令和6年9月
定例会

8月28日～9月25日
会期29日間

**入間市葬祭条例を廃止する条例など
31の議案等を審議**

▶市長提出議案

規約……………2件 条例……………4件
一般議案……………6件 補正予算……………9件
令和5年度決算認定および関連議案……………10件

以下の条例を可決しました

廃止 条例	議案第52号	入間市葬祭条例を廃止する条例
一部 改正 条例	議案第53号	入間市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	議案第54号	入間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	議案第55号	入間市国民健康保険条例の一部を改正する条例

請負契約の締結について

議案第76号

旧黒須銀行復元修理工事

契約金額	契約の相手方
2億8,292万円	川木建設株式会社



大正時代の黒須銀行

議案第77～79号

入間市立学校給食センター建設工事

工事種別	契約金額	契約の相手方
建築工事	14億7,400万円	細田建設株式会社
機械設備工事	20億2,950万円	株式会社アペック エンジニアリング
電気設備工事	6億38万円	株式会社 大庭電気商会



学校給食センター
完成イメージ図

議決結果

議案等の詳細は、「入間市議会 情報公開システム」でご覧いただけます。



賛否が分かれた議案等

議案等番号	件名	自由民主党入間市議団								公明党入間市議団			日本共産党入間市議団		市民フォーラム	入間市民クラブ	みらいの会	賛成	反対	議決結果等				
		横田淳一	宮岡治郎	小島清人	鈴木洋明	内村忠久	古仲リカ	長谷川涉	双木小百合	大野 勉	池 畠 司	永澤美恵子	金澤秀信	向口文恵	末次正	安道佳子	小出 亘				佐藤 匡	野口哲次	紺野博哉	吉田賢一
市長提出議案	51	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	16	3	原案可決
	52	入間市葬祭条例を廃止する条例	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	15	3	原案可決
	55	入間市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	15	3	原案可決
	76	旧黒須銀行復元修理工事請負契約の締結について	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	14	4	原案可決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

全会一致の議案等

議案等番号	件名
50	入間西部衛生組合規約の変更について
53	入間市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
54	入間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
56	市道路線の認定について（市道A768号線）
57	市道路線の認定について（市道F844号線）
58	令和6年度入間市一般会計補正予算（第2号）
59	令和6年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
60	令和6年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
61	令和6年度入間市介護保険特別会計補正予算（第1号）
62	令和6年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
63	令和6年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
64	令和6年度入間市水道事業会計補正予算（第1号）
65	令和6年度入間市下水道事業会計補正予算（第1号）
77	入間市立学校給食センター建設工事（建築工事）請負契約の締結について
78	入間市立学校給食センター建設工事（機械設備工事）請負契約の締結について
79	入間市立学校給食センター建設工事（電気設備工事）請負契約の締結について
80	令和6年度入間市一般会計補正予算（第3号）

■令和5年度決算認定および関連議案は、閉会中の継続審査として、9人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

議会
人事

決算特別委員会

委員長 内村 忠久 副委員長 池 畠 司

委員 小出 亘 佐藤 匡 末次 正 永澤美恵子
大野 勉 古仲 リカ 宮岡 治郎

クローズアップ

討論

賛否が分かれた議案のうち、この議案についてクローズアップして紹介します。

議案第52号

入間市葬祭条例を
廃止する条例

社会情勢の変化に伴う葬儀形態の多様化等を鑑み、市営葬を廃止するもの。

入間市マスコットキャラクター
「いるティー」

反対

日本共産党入間市議団

昭和46年施行の市営葬は約52年に渡り継続してきた。低所得の方や年金生活の方でも安心して葬儀が行える制度として長年市民に利用されてきた。市営葬の利用状況は、およそ30%程度で推移、大幅な減少は見られない。制度の廃止による市民への影響は少ない。市民サービスの切り捨てであり、暮らしが厳しい今こそ必要。暮らしが大変でも安心して葬儀を行うことができる市独自の市民に優しい施策である市営葬は廃止ではなく、継続こそ必要。よって入間市葬祭条例を廃止する条例に反対。

賛成

自由民主党入間市議団

入間市葬祭条例は、昭和46年に葬儀経費の軽減と市民生活の改善を目的として施行された制度。その後約52年間物価の変動等がある中、委託料の値上げや葬儀仕様の見直しを行い、市営葬事業を継続してきた。新型コロナウイルスの流行で葬儀意識と形態の多様化が見られ、遺族や故人の意向に寄り添える葬儀の選択肢も拡充してきた。利用率が減少傾向の市営葬のあり方の検討を重ね、廃止の判断に至ったと理解。引き続き遺族の負担軽減に配慮の上、真に必要な事業への財源の活用を期待し賛成とする。

賛成

公明党入間市議団

入間市葬祭条例は、昭和46年10月に市民生活の改善を図る目的で制定されたもの。祭壇設置を前提にした補助である為、コロナ禍以降葬祭場を使用しない家族葬など様々な葬儀形態が社会に定着したこと、近隣市では入間市だけの実施等の理由により見直されたものと理解。国保・後期高齢者等の医療保険から5万円支給、生活保護受給者には葬祭扶助があり、低所得者世帯への一定の支援は継続。今後は遺族のために「お悔やみコーナー」の設置など、市民に寄り添うサービス向上策を要望し賛成とする。



産業文化センターの改修と市民会館整備

野口 哲次 議員



質問 産業文化センターは令和10年度から2年間改修工事が行われる。その間ホールは使えない。ホール利用者への対応は。

市民生活部長 アミーゴや、近隣市の公共施設、民間施設を案内していく。

質問 現市民会館が閉鎖されている中で、産業文化センターのホールが使えない影響は深刻。市民会館は入間市駅前側留保地への移転新築となったが、全く目途が立たない。芸術文化・市民活動の場を確保するため現市民会館の耐震補強工事をすべきでは。

市長 何をもって目途が立たないというかわからない。駅前側留保地活用は、年次スケジュールを示すことはできないが、調査等鋭意進めているところである。

質問 そういう状態を目途が立たないと

言う。入間市に芸術文化ホールがないことが問題。芸術文化ホールがまちづくりに果たす役割をどう考えているか。

市長 芸術文化ホールは市民にとって大切なもの。市民会館新築まで期間はかかるが、その間、文化芸術活動を維持していくためには工夫・調整が必要である。

【その他】「小・中学校校舎の長寿命化による財政負担の軽減・平準化」、「小学校統廃合後の夏の通学が勉強の妨げや健康を害することにならないか」等



産業文化センターのホール



災害に強いまちづくり トイレトラックの導入

古仲 リカ 議員



質問 災害に対しての危機対応能力を身につけるには、日々の訓練が大変重要である。「実践を想定した実効性のある訓練」とはどのような防災訓練なのかを伺う。

危機管理安全部長 市民参加型の避難所開設・運営訓練を重点項目として実施、各避難所では、自主防災会を中心に避難所の開設から運営まで一連の流れを確認。

質問 国や県でも推奨している、実災害をイメージして行う「災害図上訓練」を本市でも取り入れ、職員・市民の防災意識向上につなげてほしいが、取組状況を伺う。

危機管理安全部長 職員の研修等で取り入れており、実災害での対応力向上を図っている。教育委員会とも連携し「マイ・タイムライン研修」も順次実施している。

質問 災害時のトイレ事情は深刻である。大規模災害時の衛生的で安全なトイレ環境の確保を図るためにトイレトラックの導入を検討いただきたいが、ご見解を伺う。

危機管理安全部長 首都直下地震での埼玉県の被害は、下水道復旧まで30日を要することが見込まれ、トイレの備えは重要と認識。今後も導入に向け研究を進めていく。

質問 ごみ回収が遅い場所がある理由は。
環境経済部長 狭山、所沢市へも搬出しており、多い場合は何度も行き来するため。



入間市
「防災ガイドブック」



兵庫県南あわじ市の
トイレトラック



自転車活用まちづくり 災害時受援体制の確立

内村 忠久 議員



質問 入間市自転車活用まちづくり条例制定から1年経過後の成果は。

危機管理安全部長 庁内組織で検討委員会を設置し、「自転車活用まちづくり推進計画」策定に向け検討を進めている。

質問 計画策定の進捗状況と完成目標は。

危機管理安全部長 現在原案を検討している段階で、令和7年3月の完成を目指す。

質問 移動図書館やまばと号について(1)事業実施の経緯(2)維持管理費(3)運行コース設定の考え方(4)利用状況は。

教育部長 (1)昭和51年から図書館のない地域へ代替えサービスとして開始(2)年間約120万円(3)公共図書館を利用しづらい地域を網羅する様に設定。1年毎に見直しをしている。現在巡回は市内25カ所、開設時間

は30分程度(4)貸出者数は6,258人、貸出点数は15,967点。年代別では70代が最も多く、次いで80代、60代となっている。

質問 やまばと号の今後の方向性は。

教育部長 ニーズに応じ高齢者施設や障害者施設、病院等への巡回を検討。車両更新時は環境に配慮し、新たな手法も検討。

質問 災害時受援計画整備の着手状況は。

危機管理安全部長 能登半島地震の教訓を受け災害時受援計画策定に着手している。

【その他】 地区センターの図書室について



市民に親しまれる
移動図書館「やまばと号」



子供の性被害防止対策 5歳児健診の導入

永澤 美恵子 議員



質問 性犯罪の撲滅に向け、国では令和5年度から3年間を「子どもに対する性犯罪・性暴力対策の更なる集中期間」として総合的に取り組んでいる。①教職員・保育関係者への研修は②「生命の安全教育」、プライベートゾーンの啓発は③相談体制・被害児童を守るマニュアルは④防犯カメラの設置等の施設対策は⑤採用時に前歴を確認できる日本版DBS法施行を前提に性犯罪事件発生時の厳格な処分・対応は。

子ども支援部長 ①性的虐待等の防止研修を実施②4歳以上に絵本等で指導③相談窓口の紹介・児童虐待スキームを共有④保育所整備計画で検討⑤厳正に対処する。

教育長 ①倫理確立委員会を開いて実施②全校で実施するよう徹底③タブレット端

末に「何でも相談室」を導入④着替え時に様々な配慮を実施⑤毅然とした対応をする。

質問 国が推進する「5歳児健診」は発達障害のスクリーニングを実施し、早期療育につなげるもの。早期に導入すべきでは。

健康推進部長 重要性は認識。既存の取り組みの中で子供と保護者を支援していく。

質問 現状の、保育士任せの「保護者へ課題を伝える」作業を専門職からに変更するなど、トラブル回避に向け早急に検討を。

健康推進部長 早期に検討していく。

性的な被害、ひとりで悩んでいませんか？

服を脱がされた
水着で隠れる部分(プライベートゾーン)を触られた
下着や裸の写真、動画を撮られた、送るよう要求された
飲み物に薬を入れられ、気づいたら性行為をされていた
痴漢にあった

あなたは何もわるくありません。相談できるところがあります。

性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター
ほやぐんストップ
#8891

性犯罪被害相談電話(警察)
ハートさん
#8103

チャットで相談
キョアタイム

内閣府
男女共同参画局

若年層の性暴力被害防止啓発カード
(男女共同参画局)



ごみの分別・避難所の 熱中症対策

吉田 賢一 議員



質問 ごみ分別の向上への取り組みは。
環境経済部長 リーフレットや冊子を全戸配布している（9ヶ国語対応）。また、「入間市ごみ分別アプリ」の配信もしている。
質問 雑紙専用の回収袋を作るべきでは。
環境経済部長 コストもかかるため、他市の事例を参考に研究していく。
質問 教育長としての振り返りは。
教育長 「公教育の構造改革」「学びの構造改革」「学校と地域の連携改革」を図った。
質問 今後の展望は。
教育長 「探究と協働」を柱に、社会を生き抜くために必要な学力の向上を図る。「ふるさと入間を愛する心」を醸成していく。「教育、福祉、保健の連携」を充実させ、

「こどもの教育環境改善」「家庭への支援向上」を市長部局と協働し、組織的に対応していく。

質問 災害時における避難所の熱中症対策について。

危機管理安全部長 今後、エアコンが小・中学校の特別教室に設置される予定であるため、避難所として活用していく。エアコンの設置されていない避難所については、移動式エアコンやスポットエアコンを提供してもらえよう調整していく。



入間市ごみ分別アプリ



精神障害者福祉・児童 発達支援の充実

池畠 司 議員



質問 精神障害者医療費助成の現状は。
福祉部長 「重度心身障害者医療費助成制度」によって医療費の一部負担額を助成。精神障害者保健福祉手帳1級から3級のうち、1級所持者の精神病床への入院以外の医療が対象。
質問 身体、知的障害者の助成範囲は。
福祉部長 身体障害者手帳1・2・3級所持者と療育手帳A・A・B所持者。
質問 精神障害者保健福祉手帳2級所持者への助成拡大についての認識は。
市長 県が対象を拡大すれば、市も同様に拡大したい。本来は国が全国で行うべき。
質問 拡大に前向きな自治体とさらなる連携と要望を。
市長 令和4年に連名で要望を行った自

治体とともに、改めて県へ要望するために連携を続ける。

質問 訪問・巡回支援の充実、幼稚園教職員の学びの充実を。

教育長 巡回支援は昨年度194回実施。小1プロブレムの解消に役立っている。

こども支援部長 専門職による訪問支援を行い、現場への助言を行っている。また、CLM研修等も実施している。児童発達支援センターういずを中心に地域の支援機関への後方支援を充実させていく。



「児童発達支援センターういず」が設置されている入間市健康福祉センター



未来の原風景づくりへのしくみと市民の参画

双木 小百合 議員



質問 公共施設の需要変化への対応と公共施設情報の可視化による市民との共有は。

総務部長 公共施設マネジメント事業計画で、老朽化対策、施設機能の見直し、保有量の適正化を推進。需要変化への対応は、所管部署を中心にサービス内容を検討し、関連部署と連携し見直す。市公式HPで施設カルテや公共施設マネジメント白書を公開、可視化し、市民と課題を情報共有している。

質問 地区センターとまちづくりの主体。

市民生活部長 地域拠点施設として地区センターに自治振興支援機能があり、職員がコーディネート役を担う。住民の参画による地域ごとの課題解決、合意形成のしくみについてまちづくり講演会を開催し、合議体に参画、自ら創造し課題解決と決定が

できる人材発掘を目指す。やさしい日本語、DX推進員活用で交流し情報格差を解消する。

質問 まちづくりへの意識の芽生えは。

教育長 学校では、児童生徒の発達段階に応じ、地域の様子を知る、参加する、考える、実践する、地域の課題を考え、「市長になり条例をつくる」など探究活動で地方行政に取り組む。地域学校協働活動推進員を委嘱し、学校と地域をつなぐ。学校の教育活動と地域活動に積極的にご支援と関わりを。子どもたちは準備ができています。



地域へ貢献 中学生ボランティアが地域の催し物に参加 (写真 金子中学校)



市民文化、交通行政、防災行政、まちづくり

大野 勉 議員



質問 文化創造アトリエのホール棟、ギャラリー棟の冷暖房は。

市民生活部長 開設当初と比べて夏の平均気温が約5度も上昇しており、要望も多いが、建物の魅力を維持しながらの改修は相当の費用がかかるため、研究していく。

質問 市長の考える文化とは。

市長 市民の様々な文化・芸術活動を通じて、人と人との触れ合いの中で新しい文化の創造が起こり、それぞれの伝統が継承され、活力ある地域づくりに発展するものと考えている。

質問 仏子駅第二駐輪場を文化創造アトリエの臨時駐車場として活用する可能性は。

危機管理安全部長 所管部署から、活用の調整があった場合に可能性を検討する。

質問 防災無線難聴地域の解消策は。

危機管理安全部長 音達調査結果に基づき、出力やスピーカーの向きなどを調整し、聞き取りにくさの解消を図っている。

質問 入間市をPRするための写真コンテストの開催は。

企画部長 本市の魅力を再発見し、広く共有することで、さらなる観光客の誘致や地域経済の活性化に繋がると期待するが、実施には、予算や人員の確保等多岐にわたる計画が必要であり、今後研究していく。



文化創造アトリエの全景



青梅IC北側の土地利用に伴う課題について

末次 正 議員



質 問 土地利用計画について、スピード感を持って推進する本事業の特徴を問う。

都市整備部長 業務代行方式で、都市計画とエリア内の土地区画整理事業が一体となり、事業の早期実現が可能となる。

質 問 事業を進めるにあたり入間市の課題を問う。①雨水対策②道路整備③環境対策④青梅市との連携⑤周辺的生活環境整備

都市整備部長 ①業務代行者がエリア内に調整池を造り、雨水の流出を抑制する。②業務代行者が交通量調査、地盤調査を行う。道路整備費用は事業を進める中で検討。③CO₂排出ゼロに向け、誘致する企業に対して働きかける。④青梅市と定期的な協議を進める。⑤地域住民も利用可能なカフェや託児所、スケートボードパークを整備

した事例などを参考に整備を目指す。

質 問 エリアに近いJR金子駅前ロータリーや周辺の道路整備を計画的に行うべき。

都市整備部長 事業の進展に合わせて検討。

質 問 入間市空き家バンク制度を活用し、リフォーム代を助成するなど、本市への移住・定住を促進すべきでは。

都市整備部長 空き家バンク制度は有効活用を図りつつ、民間事業者の協力等の手法を検討する。

【その他】若者の投票への参加向上



圏央道の広域物流機能の優位性を生かし工業系立地を図る青梅IC北側エリア



国民保護、交通安全、ふるさと納税

紺野 博哉 議員



質 問 1 市の国民保護計画の基本的な考え方は。2 想定される武力攻撃事態等の類型は。3 類型に応じた避難、救援、武力攻撃災害への措置は。4 国民保護訓練の実施時期は。5 訓練の重点目標は。

危機管理安全部長 1 国民保護法の理念にあたる基本的人権の尊重、表現の自由の保障を最上位に置いて策定している。2 着上陸侵攻、ゲリラ等による攻撃、弾道ミサイルによる直接攻撃、航空攻撃の4類型を想定している。3 国民保護対策本部を設置するとともに県が指定している避難施設の明示等を行う。4 来年3月を予定している。5 全国瞬時警報システムの周知を柱に検討している。

質 問 道路反射鏡の設置基準について。

危機管理安全部長 入間市道路反射鏡設置基準に基づき判断している。

質 問 1 ふるさと納税の返礼品としての、ブルーインパルスの予想観客動員数は。2 学校敷地内の使用について。3 展示飛行が中止となった場合の代替措置は。

企画部長 1 1,785名を予想している。2 駐車場としての使用を考えている。3 入間市の特産品であるお茶を考えている。



ブルーインパルスによる展示飛行



国民健康保険・学校統廃合について

佐藤 匡 議員



質 問 国保は高すぎる。一般会計から繰り入れをし、国に国庫支出を求めるべき。

市 長 令和9年度からの保険税の県内準統一以降は決算補填目的以外の繰り入れもできなくなる。さらなる財政支援の拡充について埼玉県国保協議会や全国市長会を通じて国に対して要望しており、今後も継続して要望していく。

質 問 宮寺小学校と狭山小学校の統廃合において、通学時間が片道1時間かかる子供達が出てくることについての認識は。

市 長 身体的影響があるだろうと考えている。一方で安全な通学が最も重要。

質 問 日本大学の2千人の通学調査「通学時間が1時間以上かかる高校生は、30分未満の生徒と比べて抑うつ症状のリスクが

1.6倍、不安症状のリスクが1.51倍高い傾向がある」との発表に対する見解は。

市 長 統合による心理的变化や影響はあると思う。現場の中でもスクールカウンセラーや先生方にサポートしていただきたい。市としても支援していきたい。山間部ではスクールバスを導入したら体力面で低下する問題が生じたと聞いている。メリットもあればデメリットもある。何が本市にとって良いのか、子供達にとって良いのか教育委員会と共に考えて研究していきたい。



地域の礎である宮寺小学校



ユマニチュード、孤独孤立対策、避難所改善

向口 文恵 議員



質 問 認知症の方とのコミュニケーションをスムーズにするケアの技法である「ユマニチュード」を介護現場、認知症カフェ、市民講座等で普及・啓発ができないか。

福祉部長 日本ユマニチュード学会等が制作したパンフレット等で情報提供し、認定講師による講演会を検討。広く周知する。

質 問 国では「孤独・孤立対策推進法」が施行された。努力義務となっている「地域協議会」の設置や、鳥取市が推進し政府も進める「つながりサポーター」の育成を。

福祉部長 支援の在り方や、協議体との連携を検討し、鳥取市の事例を研究する。

質 問 中央防災会議の「防災基本計画」が見直され当市の避難所でも改善策が必要。
①在宅避難者・車中泊の方への支援策②ト

イレの確保策、段ボールベッド等の整備状況は③携帯トイレの実演の機会を④可能な限り国際基準の「スフィア基準」を参考に。

危機管理安全部長 ①避難所で両避難者を把握し支援に繋げる②携帯トイレの有効性、備蓄を啓発。長引く際は協定事業者へ仮設トイレを要請しマンホールトイレ設置施設では併用。段ボールベッドは常備せず必要な際は提携事業者へ要請③防災訓練で実演予定④現状は難しいが、協定事業者からの支援等で、避難所の生活向上に努める。



携帯トイレの一例



行き止まり道路への行政サービスの拡充を

金澤 秀信 議員



質問 夏休み期間中の学童保育室の出し弁当選択制度は28施設中18施設が未実施。令和8年度稼働予定の入間市学校給食センターの活用により、全施設への弁当配布を。

こども支援部長 教育委員会と相談する。

質問 彩の森入間公園にドッグランの常設設置を県に要請できないか。

副市長 9月から年度末まで月2日間、仮設でドッグランが実施されている状況を見直し、必要に応じ県と協議する。

質問 市道・私道を問わず通り抜け道路の舗装工事は市の負担。行き止まり道路は公道・私道を問わず防犯灯・カーブミラーが設置不可と、行政サービスに格差。

行き止まり道路であっても住民税は安くならないのに道路の形状で市民の安全安心

に格差があるのは問題。①狭山市・飯能市を含む県内16市2町では行き止まり私道でも舗装工事費を高額補助。入間市も抜本的な見直しを。②所沢・狭山・飯能市では行き止まり道路への防犯灯・カーブミラーの設置が可能。設置基準の見直しを。

都市整備部長 ①限られた予算の中で行き止まり私道への支援拡大は厳しい。

危機管理安全部長 ②現在の基準でも満足に設置できず、予算的に厳しい。

【その他】ふるさと納税返礼品の発掘を



未舗装で水たまりに30年以上悩まされる東藤沢地区内の行き止まり私道

一般

質問

質問



旧石川組製糸西洋館 仏子の大沢川の新橋

宮岡 治郎 議員



質問 入間市所有の『西洋館』について。(1)和洋折衷の構造が特徴との事だが。(2)複雑な形状の屋根だが、建物の保存状態は。(3)公開に際して内覧者の感想は。(4)国の登録文化財で利活用の自由度は高いと思うが。

教育部長 (1)洋の知識と和の技術が融合し、微細な配慮も感じられる。(2)雨漏りが発生し易いが、平成29年度に全面修理している。(3)参加者数は延23,458人で、多くの賛辞や、様々な分野に詳しい方の情報もある。(4)適切な保存を図りながら、例えば、撮影の有料貸出しでは、令和5年度で829万円の収入があり、維持管理費用に充てている。

質問 仏子の大沢川の橋の架け替えについて。(1)新しい橋の規模・構造・施工方法は。(2)交通安全上、開通前に電柱は移設さ

れるか。(3)北側のマンション敷地内の公園に変更は。(4)緊急輸送道路として、救援物資は、避難所へどの様に届けられるのか。

都市整備部長 (1)長さ6.3m、車道幅7m、歩道幅2m。全体を工場で一括製作した構造物を、現地に設置している。(2)工事中の仮設の電柱であり、従来の位置に移設する。(3)土地を整地し、元通り遊具を再設置する。

危機管理安全部長 (4)救援物資の集積場所としては、市民体育館等を想定しており、西武地区センター等の避難所に配送する。



国道16号の側が正面の、『旧石川組製糸西洋館』



マイナ保険証の撤回を 学校給食費無償化へ

安道 佳子 議員



質 問 12月2日には健康保険証が廃止されマイナ保険証に移行する。マイナ保険証利用状況と医療機関でのトラブル件数は。

健康推進部長 マイナ保険証の利用率は国民健康保険で14.85%、後期高齢者医療保険で10.93%。市内57医療機関中17カ所で223件トラブル等が発生した。後期高齢者ではマイナ保険証の紛失が560人生じ再発行した。

質 問 マイナ保険証の利用が低い要因は。

健康推進部長 トラブル等が多く、情報漏洩等への不安や利便性の周知不足も要因。国は方針のみで、具体策を示していない。

質 問 国は無責任では。市の対応策は。

健康推進部長 11月市報で特集を組み周知する。後期高齢者に資格情報を発行する。資格確認証を交付し対応する。

質 問 国は対策不足。市民の医療を守るために国に制度の延期を要請すべきでは。

市 長 DX推進は国策。マイナ保険証はデジタル社会に必要なもので利便性が図られる。医療情報の利活用が今後必要になる。

質 問 全国で給食費無償化が進んでいる。義務教育は無償に基づき入間でも実施を。

市 長 温かくておいしい手作りの直営給食は他市に誇れる入間の魅力。給食費無償化は財政的に困難であるが、今後食材費が著しく高騰したら市費を投入し手当したい。



温かくておいしい入間の給食



おむつ給付継続・ 公契約条例

小出 亘 議員



質 問 在宅か、グループホームへの入居中か否かにかかわらず、障がい者の方々に紙おむつが支給されてきたが、グループホーム等の入居者へのおむつ支給廃止が通告された。年間概算15万円の自己負担が生じる。大変厳しいものであり、支給廃止は撤回すべきでは。

市 長 障がい者の方々の大変な状況は理解している。見直しを検討する。

質 問 市発注の工事に関して業者の実態把握をし、建設業者を守る公契約条例は、中小零細業者の経営安定をもたらし、公共サービスの質を担保する効果がある。労働条件を条例により保証する公契約条例の制定を入間市でも実施すべきでは。

総務部長 個人情報などにかかわるため

公契約条例の制定については考えていない。

質 問 以前、入間市でも大きな効果を上げ、地域経済の活性化に効果のある住宅リフォーム助成を復活させる考えは。

環境経済部長 現在のところ実施の考えはない。

質 問 仏子地区上橋の南側の市道が片側しか歩道がなく危険な状況のため両側に歩道を設置できないか。

市 長 歩道は最低2メートルの幅がないと設置することはできない。



上橋南側の片方しか歩道がない市道

姉妹都市議会交流事業

7月10日(水)から11日(木)まで、入間市議会の正副議長と4委員長が佐渡市を訪問し、佐渡市議会と交流しました。

■ 意見交換会 「議会広報について」

佐渡市議会（以降佐渡）：広報の委員会で、各常任委員会の副委員長が入っている訳は。

入間市議会（以降入間）：委員会に付託された議案の説明や、委員会の行政視察の報告を、議会だよりにより執筆するため。

入間：議会だよりは20ページ固定だが、載せる内容が無く、余ってしまうことは無いのか。逆に足りない場合はどうするのか。

佐渡：委員会審査を掲載しているのでも、埋まらない事は無い。どこが削れるか議論もしている。

佐渡：請願の場合、通常とは違うコンテンツの掲載のルールはあるのか。

入間：意見書を求める請願が採択された場合、結果の意見書の要旨も掲載する。

■ その他

佐渡：『入間の海』についてはコロナの関係で中断しているが、今後の継続は。

入間：漁業組合等の理解を得て、子ども達の体験を再開して頂きたいと考えている。



■ 佐渡市新庁舎(防災拠点庁舎)を視察

新庁舎は防災拠点庁舎で、令和5年11月に供用開始。鉄筋コンクリート造り、地上3階建てで、延床面積は約5,100㎡。1階は、福祉医療や税務系の課が、2階は、総務や防災系の課が、3階は、議会関連の施設が配置されていました。市議会の議場は平坦で、傍聴席も40席程ありました。



本会議場 議員席の後ろは傍聴席

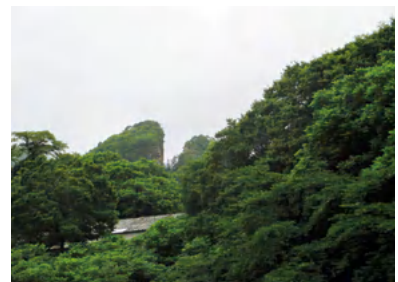


1階の広いロビーの様子

■ 史跡佐渡金山を視察

祝 7月27日に「佐渡島の金山」がユネスコ世界文化遺産に登録されました！

「佐渡島の金山」では、機械装置を用いることなく、19世紀半ばまで完全に手工業のみによる採掘が行われました。17世紀には、量・質の両面において世界最大級・最高品質の金生産を誇りました。鉱山地区に加え生産組織を伝える集落地区も残っているものとして、世界で唯一の鉱山遺跡です。



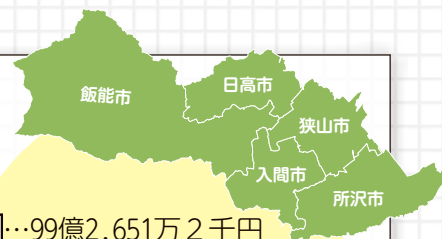
どようのわげと 道遊の割戸

入間市議会議員は、広域の議会

埼玉西部消防組合議会

埼玉西部消防組合とは、入間市、所沢市、飯能市、狭山市、日高市（構成5市）の消防行政を共同で運営し、管内人口約79万人の安全安心を守る、一部事務組合です。消防の広域化により、住民サービスの向上や消防に関する財政基盤の確立と行財政運営の効率化、消防体制の基盤の強化が期待できます。

埼玉西部消防組合議会は、構成5市の市議会議員から選ばれた議員16名（入間市議会議員からは3名を選出）で構成され、消防組合の予算、条例などの審議、決定を行っています。



令和6年度当初予算 …99億2,651万2千円

令和6年度入間市負担額 …18億3,372万4千円

(令和5年度普通地方交付税に係る消防事務に要する基準財政需要額の割合により算出)



埼玉西部消防局 所沢中央消防署

瑞穂斎場組合議会

瑞穂斎場組合とは、東京都西多摩郡瑞穂町にある公営斎場の瑞穂斎場を運営する一部事務組合で、入間市、東京都福生市、羽村市、武蔵村山市、瑞穂町の4市1町で構成しています。亡くなられた方または火葬許可申請者が組合内の住民である場合は、優先して組合料金で斎場の利用ができます。

瑞穂斎場組合議会は、構成市町より3名ずつ選出した議員15名で構成され、組合の予算、条例などの審議、決定を行っています。

令和6年度当初予算 …3億8,200万円

令和6年度入間市負担額 …1億612万4千円

(人口割合と火葬実績に基づき算出)



瑞穂斎場

※一部事務組合とは…市町村の事務の一部を共同処理するため設置される法人格を持つ団体で、市町村が普通地方公共団体と呼ばれるのに対し、特別地方公共団体と呼ばれます。ひとつの市町村では対応できない、あるいは広域で取り組んだほうが効率的であるなどの理由により、地方自治法第284条第2項の規定に基づき設置されるものです。

などにも所属しています!

入間西部衛生組合議会

入間西部衛生組合とは、昭和40年に入間市、日高市のし尿及び浄化槽汚泥の処理に関する事務を共同処理するための一部事務組合として発足しました。

昭和42年度から、し尿処理施設「清掃センター」を日高市に開設し、現在では処理水を公共下水道へ放流する施設として運営されています。

入間西部衛生組合議会は、構成市より6名ずつ選出した議員12名で構成され、組合の予算等の審議、決定を行っています。(令和7年度からは構成市より5名ずつ、計10名の議員に変更されます。)

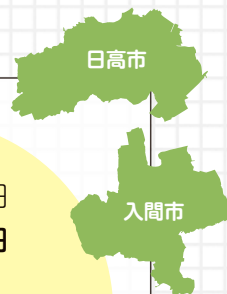
令和6年度当初予算 … 3億7,187万8千円

令和6年度入間市負担額 … 2億5,860万5千円

(規約の規定と人口割合により算出)



入間西部衛生組合 清掃センター



埼玉県 都市ボートレース 企業団議会

埼玉県都市ボートレース企業団とは、入間市を含む埼玉県内15市で構成されている組織で、戸田競艇場の競艇施行に関する事務を共同運営する一部事務組合です。入間市議会議員からは1名議員を選出しています(議長)。

競艇施行によって生じた収益金は、構成市に均等割で配分され、入間市でも貴重な財源として学校の耐震整備などに活かされています。

監査委員 (議会選出)

監査委員とは、地方自治法の規定により地方公共団体に置くこととなっている執行機関で、入間市議会議員からは1名選出しています。

市長から独立し公正・不偏な立場で、市関係機関における財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理が、法令等に基づいて適正に行われているか、また、効率的・能率的に行われているかなどの観点から各種の監査を行っています。

入間市都市計画 審議会

入間市都市計画審議会とは、入間市都市計画審議会条例により設置されている審議会で、市長の諮問に応じて都市計画に関する事項を調査・審議しています。入間市議会議員からは2名の委員を選出しています。



入間市マスコットキャラクター「いるティー」

決算特別委員会の現地調査報告

令和5年度の水道事業会計決算に関して、
9月30日(月)に、現地調査を実施しました。

扇町屋配水場改修工事

- 工事場所 入間市大字下藤沢地内
- 工期 令和3年8月12日～令和6年3月15日
- 工事費 12億8,653万6千900円
- 工事大要 (1)建築・建築設備工事
(2)電気設備工事
(3)機械設備工事
(4)県水切り廻し工事
- 工事概要 老朽化し更新時期を迎えた配水機器設備について、将来の水需要に見合った設備への更新と同時に省エネ機器への更新を行った。インバータ化によるエネルギーコストの削減に配慮した設備とし、停電時にも安定的な水道水の供給が図れるよう老朽化した自家発電装置を更新するため、新たに自家発電機棟を建設したものの。

扇町屋配水場概要

昭和49年12月竣工
年間配水量(令和5年度実績)
県水受水量 3,608,910m³ 自己水量 1,434,620m³
合計 5,043,530m³(市内全体の約31.7%)
配水エリア 豊岡地区の一部、藤沢地区の一部
給水戸数 約25,000戸 給水人口 約49,000人



電気室

床パネルは1枚ずつ、手動にて取り外し可能。配線が自在で、点検も容易。



ポンプ棟

配水量に応じ、ポンプ4基から3基への更新。



新自家発電機棟

静音、低振動の非常用発電設備内部を確認。

いるま市議会だより No.208



表紙／霞川土手に咲くコスモス

編集／議会広報委員会

- ◎宮岡 治郎
- ◎双木小百合
- 佐藤 匡司
- 池島 賢一
- 吉田 正
- 末次 秀信
- 金澤 力
- 古仲 リカ
- 内村 忠久

発行／入間市議会



入間市議会

http://www.city.iruma.saitama.jp/gyosei_joho/83/index.html

12月定例会日程案

- 11月20日(水) 開会
- 11月26日(火) 総括質疑
- 11月27日(水) 総括質疑
- 11月28日(木) 総務常任委員会
- 11月29日(金) 都市経済常任委員会
- 12月2日(月) 福祉教育常任委員会
- 12月4日(水) 一般質問
- 12月5日(木) 一般質問
- 12月6日(金) 一般質問
- 12月12日(木) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会議務局へお問い合わせください。